

宮浦ギャラリー六区 新展示 《瀬戸内「百年観光」資料館》 公開のお知らせ



写真: 宮脇慎太郎

2019年9月から始まったプロジェクト《瀬戸内「百年観光」資料館》は、直島・宮浦ギャラリー六区にて、新たな展示《瀬戸内「百年観光」資料館》を公開します。

アーティスト・下道基行が監修する《瀬戸内「百年観光」資料館》は、瀬戸内海地域の景観、風土、民俗、歴史などについて、そこに住む人々、関わりを持つ人々とともに、各分野の専門家も交え、調査、収集、展示し、語り合う場として構想しました。一連の営みは記録として保存し、さらに次の展開に活用していきます。

昨夏に続く第二回は《瀬戸内「百年観光」資料館》と題し、直島を中心とした瀬戸内海の観光の変遷をテーマに展示を行います。1900年代初頭から2020年まで、およそ百年間の瀬戸内の観光史を俯瞰します。調査のなかでアーティストは、旅行本や古地図、島の方々から提供いただいた資料に出会い、現在から過去へ遡るように空間内に配置しました。

本展示を通して、この地を訪れた人々がどのように瀬戸内海を体験し、受容していったのかを振り返るとともに、私たちの現在地と歴史の繋がりをたぐり寄せ、知る過程を、来館する方々と共有できることを期待しています。

瀬戸内「
」
資料館

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 宮重・太田

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <http://www.benesse-artsite.jp/>

宮浦ギャラリー六区

2013年、直島・宮ノ浦地区に設置されたギャラリー。建築家・西沢大良による設計で、かつて島民が行き交っていた娯楽の場「パチンコ999（スリーナイン）」を、隣接する公園とともに、島内外の人々が集う憩いの場として開館しました。

アーティストプロフィール

下道基行（したみち もとゆき）

1978年岡山生まれ。2001年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。日本国内の戦争遺構の現状を調査する「戦争のかたち」（2001-2005）、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」

（2006-2010）、日本の国境の外側に残された日本の植民／侵略の遺構をさがす「torii」（2006-）など、展覧会や書籍、ワークショップなどで発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。2019年、ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館の参加アーティストでもあり、国内外さまざまな展覧会に参加。さらに、作家として作品をつくることと並行して、「Re-Fort Project」（2004-）、「新しい骨董」（2014-）、「旅するリサーチラボラトリー」（2015-）など、さまざまな人々とのグループ／コレクティブでのプロジェクト活動も多数行っている。2019年より「瀬戸内「資料館」を企画・監修し、「館長」に就任。

インフォメーション

開催期間 2020年7月4日（土）～8月29日（土）のうち土曜日のみ開館
開館時間 13:00～16:30
会場 宮浦ギャラリー六区（〒761-3110 香川県香川郡直島町2310-77）
鑑賞料金 無料

新型コロナウイルス感染症 感染予防の取り組み

- ・アート施設での入場数を制限します。
- ・来館者、スタッフともマスクを着用します。
- ・咳や発熱など風邪の症状、息苦しさや強いだるさのある方は入館を遠慮いただきます。来館者に検温をお願いします。
- ・施設にアルコール消毒液等を設置し、手指消毒を徹底します。
- ・受付等では、最低1mの間隔をあけて並んでいただくなど、ソーシャルディスタンスを確保します。
- ・受付にはアクリルボードを設置します。
- ・施設内のアルコール消毒清掃を強化し、定期的な換気及び消毒を実施します。
- ・来館者の居住地の確認、連絡先の取得を行います。
- ・職員の出勤時の体調確認、検温を実施します。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press/>